



平成29年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ツヴァイ  
 コード番号 2417 URL <http://www.zwei.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 縣 厚伸  
 (氏名) 後藤 喜一

TEL 03-6858-6544

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第3四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	2,832	—	△18	—	14	—	△5	—
28年2月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第3四半期	△1.49	—
28年2月期第3四半期	—	—

※当社は平成28年2月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、平成29年2月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成28年2月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第3四半期	4,699	—	3,878	—	—	82.3
28年2月期	4,990	—	4,117	—	—	82.3

(参考)自己資本 29年2月期第3四半期 3,865百万円 28年2月期 4,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	2.8	200	36.8	230	28.3	110	17.7	27.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年2月期は当社単体決算となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年2月期3Q	3,941,400 株	28年2月期	3,941,400 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年2月期3Q	298 株	28年2月期	298 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年2月期3Q	3,941,102 株	28年2月期3Q	3,931,013 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 参考情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の人口動態統計の2015年推計によると、出生数が死亡数を下回る自然減が8年連続となっており、人口減少が深刻な社会問題となっております。2015年度の国勢調査によると、婚姻件数は前年より約8千組減少するなど依然として低い水準で推移しており、未婚化、晩婚化が人口減少に大きく影響していると考えられます。

このような状況の中、少子化問題解決のために出会いの場の創出は不可欠であり、「幸せな出会いを創造する」ことを経営理念としている当社におきましても、顧客満足度の更なる向上を実現するとともに、1組でも多くの成婚者を創出するべく事業に取り組んでまいりました。

ツヴァイ事業におきましては、上半期より引き続き会員数の増加に向けて、営業力、来店予約率、会員サポートの強化に取り組んでまいりました。

当会計期間におきましては、10月より、入会時の婚活準備から出会い、成婚までのプログラムを一体化した新商品「パーソナルサポートプラン」の販売を開始いたしました。

会員サポートにおきましては、会員さま向けポータルサイトを刷新し、会員活動の活性化と利便性向上に取り組みました。会員さまへのご利用アンケートからは、操作性や閲覧性が向上した等のご回答を多数頂いております。また、お引き合わせ依頼数等が増加しております。

これらの取り組みにより、当会計期間の入会時単価は81.5千円（前年同期67.9千円）と向上し、退会者数も前年より減少したものの、新商品の浸透が遅れたことにより、同期間の新規入会者数が前年を下回ったことで会員数は前年同期比94.7%となりました。これにより月会費収入が減収となり、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比97.0%となりました。

ライフデザイン事業につきましては、地方創生を婚活支援と地域活性化で取り組む「ミライカレッジプロジェクト」を中心に、計画通り受託事業を実施しております。当会計期間では、10月に糸魚川ツアー（新潟県糸魚川市）、なかそらちツアー（北海道中空知5市5町）、佐渡ツアー（新潟県佐渡市）等、11月に壱岐ツアー（長崎県壱岐市）等を実施いたしました。これらの取り組みにより、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比184.1%となりました。

パーティ・イベント事業につきましては、従来型の会員向け・会員外パーティの開催に加え、当会計期間においては、法人団体等からのパーティ・セミナーの企画・運営の受注を重点的に取り組んでまいりました。しかしながら、少人数の出会いパーティの参加人数が前年より下回ったことと、ツヴァイ会員の減少に伴うツヴァイ会員向けパーティの収益減により、当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比78.2%となりました。

ウェディング事業につきましては、提携会場の新規開拓と成婚退会会員さまへのアプローチを強化し、式場やジュエリー販売への送客増加に取り組みました。これらの取り組みにより、当第3四半期累計期間の売上高は、前年同期比131.0%となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は28億32百万円となりました。経費につきましては、一般費を中心に削減に取り組み、販管費は前年を下回ったものの、売上高の前年差を補うには至りませんでした。これにより、営業損失18百万円、経常利益14百万円、四半期純損失5百万円となりました。

	(参考数値) 前第3四半期累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2016年3月1日 至 2016年11月30日)	増減額
売上高	2,917,935千円	2,832,665千円	△85,270千円
営業利益	12,968千円	△18,452千円	△31,420千円
経常利益	44,623千円	14,119千円	△30,504千円
四半期純利益	11,415千円	△5,884千円	△17,299千円

※前第3四半期累計期間は連結財務諸表を作成していたため、前年同四半期との比較は参考数値です。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、法人税等や配当金の支払い等や保有株式の時価評価の下落により前事業年度末に比べて2億91百万円減少し、46億99百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末より1億50百万円減少し、21億26百万円となりました。主な増減の要因は、保全額減少により金銭の信託31百万円を回収、会員ポータルサイト刷新によるシステム投資や法人税等の支払いによる手元資金(現金及び預金と関係会社預け金の合計)1億52百万円の減少です。

固定資産は、前事業年度末より1億40百万円減少し、25億72百万円となりました。主な増減の要因は、システム投資による無形固定資産1億75百万円の増加と保有株式の時価評価額が下がったことによる投資その他の資産2億59百万円の減少です。

### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べて52百万円減少し、8億20百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末より28百万円増加し、4億36百万円となりました。主な増減の要因は、年度末に比べ広告媒体の購入増加による買掛金57百万円の増加、年度末に比べて引当月数が増えたことに伴う賞与引当金26百万円の増加、法人税等を支払ったことによる未払法人税等54百万円の減少です。

固定負債は、前事業年度末より80百万円減少し、3億83百万円となりました。主な増減の要因は、保有株式の時価評価等による繰延税金負債65百万円の減少です。

### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて2億38百万円減少し、38億78百万円となりました。主な増減の要因は、四半期純損失と配当金支払による利益剰余金1億24百万円の減少と保有株式の時価評価によるその他有価証券評価差額金1億16百万円の減少です。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

お客さまの婚活へのモチベーションが高まり、年間で最も入会者を獲得できる年始からの販売を強化しております。また、ツヴァイホームページの有効活用と、マリッジコンサルタントへの教育研修の徹底により新商品の浸透を図り、計画通りの新規入会者を獲得してまいります。これらの取り組みの効果を見込み、2017年2月期の業績予想については、2016年4月13日に公表しました予想から変更ありません。

当社子会社のZWEI (THAILAND) CO., LTD. につきましては、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、当事業年度より連結から除外し当社単体決算となっております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2016年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2016年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	121,832	149,709
売掛金	539,892	519,686
前払費用	65,717	102,826
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	42,407	47,730
関係会社預け金	1,370,000	1,190,000
金銭の信託	105,000	74,000
その他	33,941	43,985
貸倒引当金	△71,611	△71,754
流動資産合計	2,277,180	2,126,185
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	140,719	115,710
工具、器具及び備品(純額)	133,468	111,197
リース資産(純額)	54,578	46,109
有形固定資産合計	328,766	273,016
無形固定資産		
ソフトウェア	585,223	788,297
ソフトウェア仮勘定	51,855	24,456
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	640,729	816,403
投資その他の資産		
投資有価証券	1,109,609	918,390
敷金	362,443	343,157
保険積立金	266,129	219,102
その他	5,362	2,899
投資その他の資産合計	1,743,544	1,483,549
固定資産合計	2,713,040	2,572,969
資産合計	4,990,220	4,699,154

(単位:千円)

	前事業年度 (2016年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2016年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,064	95,370
リース債務	12,195	12,195
未払金	53,310	57,894
未払費用	106,865	101,437
未払法人税等	54,598	-
未払消費税等	-	20,760
前受金	72,495	64,799
賞与引当金	19,144	46,063
役員業績報酬引当金	2,107	1,591
設備関係未払金	34,769	25,059
資産除去債務	6,900	6,001
その他	7,685	5,323
流動負債合計	408,136	436,496
固定負債		
リース債務	47,765	38,618
繰延税金負債	282,243	216,633
退職給付引当金	59,911	56,891
資産除去債務	74,642	71,549
固定負債合計	464,562	383,692
負債合計	872,698	820,189
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	454,779	454,779
資本剰余金		
資本準備金	460,768	460,768
資本剰余金合計	460,768	460,768
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,330,000	2,310,000
繰越利益剰余金	99,535	△4,581
利益剰余金合計	2,489,535	2,365,418
自己株式	△362	△362
株主資本合計	3,404,721	3,280,604
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	701,727	585,216
評価・換算差額等合計	701,727	585,216
新株予約権	11,072	13,144
純資産合計	4,117,522	3,878,965
負債純資産合計	4,990,220	4,699,154



## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年11月30日)
売上高	2,832,665
売上原価	1,372,467
売上総利益	1,460,198
販売費及び一般管理費	1,478,650
営業損失(△)	△18,452
営業外収益	
受取利息	1,659
受取配当金	28,481
その他	3,508
営業外収益合計	33,649
営業外費用	
その他	1,077
営業外費用合計	1,077
経常利益	14,119
特別損失	
固定資産除却損	1,446
賃貸借契約解約損	1,964
災害による損失	1,933
特別損失合計	5,344
税引前四半期純利益	8,774
法人税、住民税及び事業税	10,885
法人税等調整額	3,773
法人税等合計	14,658
四半期純損失(△)	△5,884

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

## 4. 参考情報

当社では、子会社の資産、売上高、損益、利益剰余金及びキャッシュ・フローその他の項目からみて、当企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に関する合理的な判断を妨げない程度に重要性が乏しいものとして、当第1四半期より四半期連結財務諸表は作成しておりません。前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は以下のとおりです。

## 前第3四半期連結損益計算書

	(単位：千円)
	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年3月1日 至 2015年11月30日)
売上高	2,917,935
売上原価	1,288,903
売上総利益	1,629,032
販売費及び一般管理費	1,618,286
営業利益	10,745
営業外収益	
受取利息	1,760
受取配当金	27,342
為替差益	-
その他	2,880
営業外収益合計	31,984
営業外費用	
為替差損	5,320
その他	338
営業外費用合計	5,659
経常利益	37,070
特別損失	
固定資産除却損	1,834
貸借契約解約損	10,417
特別損失合計	12,252
税金等調整前四半期純利益	24,818
法人税、住民税及び事業税	26,591
法人税等調整額	△5,635
法人税等合計	20,955
四半期純利益	3,862
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,255
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,117